

山梨県入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	令和8年2月20日 午後2時から午後3時35分まで 山梨県防災新館403会議室（甲府市丸の内1-6-1）	
委員	委員長：武藤 慎一（山梨大学大学院教授） 委員長代理：猪狩 学（弁護士） 委員：齋藤 雅代（山梨学院大学教授） 萩原 孝恵（山梨県立大学教授） 吉井 敏瑞（一級建築士）	
審議対象期間	令和7年10月1日～令和7年12月31日	
総契約件数	283件	(備考) 審議件数 ・一般競争入札 6件 ・指名競争入札 1件
一般競争入札	274件	
(総合評価)	(220件)	
通常指名競争入札	9件	
随意契約	0件	
指名停止状況	0件	
私的独占又は不当な取引制限に係る情報処理状況	0件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	審議した7件については、適正に処理されている。	

別紙

《抽出事案の審議》

1 〔一般競争入札（総合評価落札方式）（事後審査）〕

峡南農務事-25-0016 身延南部地区 農道6号改良舗装工事その1（明許）

〈工事概要〉

道路工 L=106m

幅員 W=4.0m

予定価格 30,129,000円（消費税含む）

〈入札参加資格〉

- 本店所在地 : 峡南農務事務所管内
- 競争入札参加資格 : 土木工事業 B
- 企業の施工実績 : 9百万円以上の土木一式工事

ただし、元請として請負い平成22年4月1日から入札参加資格申請締切日までに完成している工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。

- 配置予定技術者の資格: なし

〈質疑応答〉

Q)P16の平面図、着色部分の先は工事予定があるか。

A)工事区間は100メートルであり、平面図のカーブの先までが今回の農道工事になります。道路は全長426メートルあり、農道改良をした後には場整備をする計画になっています。

Q)今回の入札は、3者から応札がありました。

A)1者入札が多くなっている中で、今回の工事は土木工事業Bでした。

一般的な道路工事になりますので、業者が応札しやすかったと推測しています。

《全体を通しての意見》

- ・なし

2 〔一般競争入札（総合評価落札方式）（事前審査）〕

治水課-25-0022 峡東浄化センター中央監視設備外更新電気工事（一部債務）

〈工事概要〉

中央監視設備更新 一式

遠方監視設備更新 17箇所

予定価格 1,326,039,000円（消費税含む）

〈入札参加資格〉

- 本店所在地 : 指定なし

- 競争入札参加資格 : 山梨県に於ける建設工事（電気工事かつ電気通信工事）の入札参加資格を有する者で、令和7年3月1日の直前に終了する事業年度を対象とした経営審査の電気工事に関わる総合評定値が1, 100点以上の者（特定建設業許可を要する）、かつ、電気通信工事に関わる総合評定値が1, 000点以上の者（特定建設業許可を要する）
- 企業の施工実績 : 請負金額1億円以上の下水道の電気工事又は電気通信工事、かつ自社で設計したことが確認できる資料（機器設計製作図等）を提出できる者であること。ただし、元請として請負い平成22年4月1日から入札参加資格 締切日までに完成している工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。
- 配置予定技術者の資格 : 監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を保有する以下のいずれかの資格を有する者
- ・一級電気工事施工管理技士
 - ・一級電気通信工事施工管理技士
 - ・上記の資格と同等以上の資格
- 配置予定技術者の施工実績 : 完成時に監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者、担当技術者（完成時にCORINSに登録された者に限る）又は監理技術者資格者証を有した現場代理人（完成時にCORINSに登録された者に限る）として平成22年4月1日から入札参加資格申請締切日まで「企業の施工実績」と同様の施工従事経験を有する者

〈質疑応答〉

- Q) 応札可能業者が22者という事だが、全国から22者という事か。
- A) はい。
- Q) 大規模な下水道関係の工事は、全国的にあると思われるが、具体的にはどういう工事か。
- A) 処理場を維持管理する機器やプログラムシステムなど、それらの大幅な更新の工事となります。
- Q) 大幅な更新工事ができる業者が、全国的にも22者という事か。
- A) はい。
- Q) 同様の工事は全国的にあると思うが、今回の入札は1者しか応札業者がいない。他県でも同様の工事があると思うが、1社しか応札業者がいないのはどういう事情か。
- A) 中央監視設備の更新と改修は、非常に難しい工事です。既存システム自体の更新があり、更新後21年経過しています。今回の落札業者が、既存システムを入れた際の業者でもあります。中央監視設備のプログラムが、この業者独自の仕様となっており、1者入札となった理由は推測ですが、既設システムの調査や解析に相当な技術力と時間を要することや当該設置者以外では既存の制御システムとの互換性を図ることが難しかったのではないかと考えています。
- Q) P15の総合評価落札方式に関する評価調書の「価格以外の評価結果」のところで、「配置予定技術者の能力」の工事成績が0点なのは問題ないか。
- A) 工事成績は82点以上の場合には4点、72点未満または県内の成績実績がない場合は0点になります。配置技術者の県内の実績がない場合のため、問題はありません。

3 [一般競争入札 (総合評価落札方式) (事後審査)]
砂防課-25-0002 御勅使川砂防工事 (一部債務) (余フ)

〈工事概要〉

本堤工 コンクリート堰堤工
H=2.0m (堤高 14.0m) L=40.7m V=1494m³ 仮設工 一式
予定価格 1 4 4, 4 4 1, 0 0 0 円 (消費税含む)

〈入札参加資格〉

- 本店所在地 : 県内
- 競争入札参加資格 : 土木工事業 A
- 企業の施工実績 : 請負金額 7,000 万円以上の河川・砂防工事
ただし、元請として請負い平成 22 年 4 月 1 日から入札参加資格締切日まで
に完成している工事。なお共同企業体の構成員としての実績は、出資比
率が 20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績と
して扱う。
- 配置予定技術者の資格 : 監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を保有する一級土木施工管
理技士又は同等以上の資格を有する者

〈質疑応答〉

- Q) P17 の正面図においてグレーの部分が施工済みとなっているが、この工事を施工した業者はどこの業者か。
- A) 今回の工事が、これで 5 期目となります。過去に 4 件発注しており、過去 4 回とも同一業者であり、今回の業者と同じ業者が落札しています。
- Q) 辞退された業者の辞退理由はなにか。応札可能業者が 93 者ある中で、2 者参加中 1 者辞退となると、もう少し入札参加者が多いと落札率も下がってくると思う。
- A) 今回の工事場所は、南アルプス市芦安地域の奥まった急峻な地域にあります。1 者辞退した理由は、配置予定の技術者が他の工事に従事するという方針になったためです。
- Q) この工事以外にも、予定されている工事があるか。
- A) この工事以外の砂防工事については、全県下で数多くの工事を実施しています。
- Q) 全県下で数多く工事が実施されているのであれば、業者にとって入札の選択肢が多いということか。
- A) 砂防工事のため、山間地の急峻な地形の狭い道路を通行して工事車両が向かうことになり、地域に精通している業者が利益を出しやすいというところもあります。
県下全域で同様の砂防工事が発注されているので、業者がそのような箇所を選定のうえ、応札されていると思います。
- Q) 今回の工事を含めて、同じ業者が落札という事か。
- A) はい、過去に 4 回工事発注しています。ともに今回落札した業者が受注をしています。
- Q) 同じ業者であれば、P16 の総合評価落札方式に関する評価調書の「配置予定技術者の能力」の「同種工事の施工実績」がなぜ 0 点になるのか。
- A) P5 総合評価落札方式公告個別事項に、配置予定技術者の加点になる条件がございます。
「技術者の同種工事の施工実績」において、加点が 2 点のところの条件に、「堤高 14 メートル以上の砂防堰堤を含む請負金額 1 億 4 千万円以上の河川・砂防工事の施工実績」とあります。

今回の落札業者は過去に受注しているが、1億4万円に達していなかったため、加点にならずに0点となりました。

Q) 今まで何度も受注されているので、しっかり工事をされているという事で問題ないか。

A) はい。適切な施工をして頂いています。

4 [一般競争入札 (事後審査)]

荒川ダム管-25-0017 荒川ダム 多目的広場四阿外施設改修工事

〈工事概要〉

多目的広場四阿改修 一式

記念館北側公衆トイレ屋根防水改修 一式

予定価格 18,238,000円 (消費税含む)

〈入札参加資格〉

- 本店所在地 : 県内
- 競争入札参加資格 : 造園工事業
- 企業の施工実績 : 5百万円以上の造園工事
- 配置予定技術者の資格 : 予定価格が8千万円未満のため不要

〈質疑応答〉

Q) 図面を見る限りでは、入札参加資格について建築でもいいのではないかと思った。

造園工事業に限った理由はあるか。

A) 今回、四阿改修とトイレ屋根防水改修の2つの工事を合わせて発注しています。

金額比率では、四阿改修工事が73.2%、トイレ屋根防水工事が26.8%となっています。

そのため、金額が多い四阿改修工事により造園工事業に発注しています。

Q) トイレの利用状況について、利用者数のデータはあるか。

A) 荒川ダム管理事務所からトイレまで離れており、記念館にも人が常駐していないので利用率は調べておりません。

ただ、観光シーズンの夏から紅葉の秋にかけては、だいぶ利用されていると思います。

時期によりますが、週に2~3日はトイレ清掃をしており、トイレットペーパーの補充などがあると聞いています。一方で、冬場はほとんど利用者がいない状況です。

Q) 記念館について、利用状況はどうか。

A) 記念館については、昔はダム湖の場所に二つの集落がありました。

その集落の方々が集うために、記念館があります。

その方々が組合を作り、記念館を管理しているのですが、だいぶ年数が経ち世代が変わったという事で、定期的な利用はほとんどありません。

5 〔一般競争入札（事後審査）〕

笛吹発管理-25-0025 広瀬発電所 鉄管流量計更新工事

〈工事概要〉

検出器更新 1組

変換器更新 1台

電源用避雷器更新 1台

DC/DC コンバータ更新 1台

アイソレータ更新 1台

配線、試験・調整 一式

予定価格 12,210,000円（消費税含む）

〈入札参加資格〉

○本店所在地 : 県内

○競争入札参加資格 : 電気通信工事業

○企業の施工実績 : 5百万円以上の電気通信工事

ただし、元請として請負い平成22年4月1日から入札参加資格締切日までに完成している工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。

○配置予定技術者の資格：求めない。

〈質疑応答〉

Q) 落札できなかった業者は入札価格が税抜1208万円であるが、予定価格よりも上回っているか。

A) はい、上回っています。

予定価格は事前に公表してあります。

予定価格より高かったです。

Q) 入札価格が予定価格を超過することは、よくあるのか。

A) あまりありません。

Q) 予定価格が超過したことについて、何か理由があるのか。

A) 詳しくは分かりませんが、消費税を含めてしまったミスではないかと思います。

Q) P3の審査整理表について、落札業者は「同種工事の施工実績」がAとなっているが、落札できなかった業者は同欄に記載がない。

記載がないのは、「同種工事の施工実績」がないということか。

A) 入札価格が予定価格を超過していましたので、判定しておらず空欄となっています。

なお、落札できなかった業者は、過去に同種工事の施工実績があります。

Q) 純粋に入札金額だけで決まっているという事か。

A) はい。

6 [一般競争入札（総合評価落札方式）（事後審査）]

新エネ推課-25-0008 水素利用設備等撤去工事

〈工事概要〉

水素利用設備撤去（再利用） 1式

既存土木施設撤去 1式

予定価格 31,493,000円（消費税含む）

〈入札参加資格〉

○本店所在地 : 県内

○競争入札参加資格 : 電気工事業 A又はB

○企業の施工実績 : 1千万円以上の電気工事

ただし、元請として請負い平成22年4月1日から入札参加資格締切日までに完成している工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。

○配置予定技術者の資格 : なし

〈質疑応答〉

Q) 今回の撤去工事は、水素利用設備のため業者に高い技術力が必要とされるか。

A) 普通のコスは基準がしっかりありますが、水素は一般的に扱うという汎用性があまり確立されていない面があります。

県内企業も、水素を扱うための勉強が進められていますが、知見がないというところもあり、1者参加になったと推測されます。

Q) 単なる電気施設の工事という事ではなく、水素の取り扱いも含めての撤去工事という事か。

A) はい

7 [通常指名競争入札]

中北建設事-25-0472 (主) 葦崎昇仙峡線外 標識板更新工事

〈工事概要〉

標識板更新 N=2枚

予定価格 8,360,000円（消費税含む）

〈指名業者を選定した考え方の説明〉

選考における優先順位

上記工種および各付けに該当する資格を有し、業者状態が正常で納税状況が完納の業者は590社である。

1. 590社のうち、塗装業の資格を併せてもち、本店所在地が中北建設事務所管内にある業者は20社である。

2. この20社のうち、当該工事と同種工事について過去に実績がある業者は10社である。
3. 本工事は規模が小さいため、総合評定値の下位ランクから5社を選定した。

〈質疑応答〉

Q) 絞り込んだ業者は、標識板の工事をよくされている業者か。

A) 絞り込んだ10者については、県の工事实績もあり県の指名にも入ってきています。

以上